

区政会議 こども青少年部会で出された主なご意見と区役所の対応・考え方

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
1	<p>小・中学校の校長先生に出席いただいているので、最近の生徒・児童の状況、また学校の状況を聞きたい。</p>	<p>昨年からの新型コロナウイルスの影響で、子どもたちが自宅に居る時間が多く、また、部活動している生徒も部活動できないことで気持ちも上がらず家にいる時間が常となり、不登校傾向になる子どもたちが例年になく増えている感がある。</p> <p>また、市岡中はさまざまな地域から学校選択で来ていただいている関係で、いろいろな学校の文化がぶつかり合うことがあり、良い面もたくさんあるが、いろんな子どもたちの生き方があり、例えばLGBTも含めて、悩んでいる子どもたちを見ながら問題意識を感じとっていることもあって、多様性の考え方ができつつある。画一的でなければならないという意識を無くして、それぞれを認めていくように先生たちも寄り添っているので、以前みたいに上から指導するような状況ではなくなっている。</p> <p>SNSで問題行動を起こすケースもある。</p> <p>港区11小学校の中で、単学級が多い西側と、中・東側はマンションが増えてきている所で、児童数の差が問題になっており、今後の学校適正配置に名前が挙がっている。</p> <p>昨年度はコロナで入学式も中止、その後分散登校、分散給食など、体験したことのない中で児童が戻ってきた。通常授業になっても消毒の日々を送り、1年半過ごしてきたが、この夏のデルタ株で、9月からの予定行事が延期、子どもたちも陽性が出て、学校休業や学年休業も続いた。10月からは感染者は減少したが、子どもたちは安心できず、今調子に乗っていたらダメだ、また増える、だから今頑張ろう。日常が当たり前じゃない、日常がありがたいということを、子どもたちは身をもって体験してきた。今も前を向いて、机をくっつけることなく、マスクを外したら一言もしゃべらずに、この2年間黙食を続けている。遠足に行けるようになっても広がって、誰もしゃべらない。こんな習慣が染み付いて、子どもたちが一番頑張っている。</p> <p>これから冬にかけて、この状態が続き第6波が来ることなく卒業式、そして新年度はPTA行事、地域行事、神社の祭りなど、何とかスタートできるよう祈るばかりである。</p>	<p>校長からの報告のため特にコメントなし</p>	<p>協働まちづくり推進課</p>

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
2	<p>築港中は生徒の人数が少ない。悪い学校ではないが、小学校の人数より中学校の人数が少ないのが、親として不思議な感覚で、無くなる無くなると言われながら残っている。どうして少人数のまま小学校を残していくのか聞きたい。</p>	<p>確かに築港中は生徒が少なく、適正配置の対象校になっている。しかし、一つは2025年の万博で港区は注目が高まってきて、弁天の方からも地価も上がってきている。人口の動態がどうなるかがあるが、築港はみなと病院跡地をJCHOという国の機関が持っており、売却後はマンションが建つ予定となっている。</p> <p>個人的には、築港小と築港中は近いので、義務教育学校という小・中が一緒になる学校があり、特色を色々出すことができ、生徒の来る範囲も、港区全域、大阪市全域から来てもらうことができる。そういう方向をとっていけば、築港小・中を残していけるのではと思っている。人口の動態を見ながら、特色のある義務教育学校という形でできたらいいなと個人的には思っている。</p> <p>また、池島小・八幡屋小・港晴小も人数が非常に少ないが、人口増の要素として、池島は市営住宅の建て替え後の残地を売却するとマンションが建つ可能性が高い。八幡屋も同様である。</p> <p>児童数だけで言うと、この3校については2つの学校を一緒にしてシミュレーションすると、いずれ単学級になる。もし統合するとしたら3つの学校を一緒にしなければということになる。ただし、単純に数を合わせて大きくするのではなくて、これから人口の動態を見ながら、地域の皆さんといろいろ話し合っただけの判断になっていく。市内では統合後に人口が増えて学校が必要となった例もあるので、慎重に見極めながらとなるが、万博も見据えた地域の活性化状況や学校自体の魅力を向上させるということも、これから地域の皆さんと考えていきたいと思っている。</p>	同左	協働まちづくり推進課